

第9回スリランカ紀行



第9回スリランカ紀行

1月末に WDC からアラガマの施設の新築セレモニーへの招待状が届いた。

日本大使館と WDC の連名の招待状であるが、急なことで出発を見あわせ、3月にあらためて訪問することにした。

なにかお祝いにと考えた末、壁掛け時計に決めたが、これが中々良いものが見つからない。近頃のは全部電波時計で、日本時間に自動的に合うようになっており、海外では使えないのである。なんとかカシオの製品で間に合わせる。

2019年3月4日

搭乗前の安全検査で、カッターナイフ（私）と虫よけスプレー（洋子）を没収される。

15時40分福岡空港を大韓航空 KE790 便で出発。



ソウル インチョン空港では5時間以上のトランジットタイム。

大韓航空のラウンジがなかなか見つからない。空港が広くなったので、移動が大変。

ラウンジで待ち時間を消化するが、夜になるとラウンジ内はだれもいなくなる。

外の通路も人影はまばら、土産物店も午後8時で閉店している。

3月5日 午前4時コロンボ到着。

洋子のビザの名前の綴りが違っていたが、難なく通過。



キャンディ市内は交通ルールが変わって主要な道路が一方通行になっている。これがかえって混雑を助長して、大変な渋滞。

WDC 本部で挨拶して、**Sthree** に行く。サシさんはコロomboに行って不在とのこと。記念品は後日直接サシさんに渡すことにする。

3月6日（水）

授業を始める。

フランスス先生

ラリタ、マダビ、メヌケ、ラジャシュエリ、マドゥサニ、シャムニラ、ラジャクシエニ
お茶の時間は例によって、甘い紅茶とビスケット。

午後、イワン・アルビスがやって来て、先日の記念セレモニーで日本大使館員が話した内容について、いろいろ尋ねられたが、あまり要領を得ない。どうも日本で女性が権利獲得のため奮闘（彼は格闘とか戦闘とかいう日本語を言うのだが）していることについて、話したらしい。

3月7日（木）

朝方はとても涼しい。 洋子はこちらに来てあまり暑くてたまらないと経験したことがない。 お天気も曇りがちで、寒いくらい。

フランスス先生

ラリタ、シャムニラ、ラジャシュカラ、メヌケ、タルシ、ビノダニ、ディラニ、

ラリタとビノダニには 24-平唐を教える。

ほかの子供たちは 28 金剛をやらせる。 メヌケはなかなかできない。

3月8日（金）

フランセス先生

ラリタ、メヌケ、マダビ、タルシ、シャムニラ、ランディ、ビノダニ、マドゥ

今回はショートステイなので、この日が最終日。子供たちが作った組紐を買い上げてやることにする。

合計 8,270 ルピー。 ラリタはこのうち 3,500 ルピーと断然多い。

マダビはもはやベテランなのだが、いまだに長さの概念がつかめない。

今回はスジーワのお母さんの家に招待された。

夕方スジーワが迎えに来てくれる。

夕方にスジーワと、森の中を散歩する。



ハチドリの仲間か。



コーヒーの実。

もともとスリランカではコーヒーが栽培されていたが、一時病気で壊滅し、その後紅茶の栽培に変わっていった。

洋子は気分が寒くてすぐれない様子。



せっかくのカレーものどを通らない様子。

翌朝、朝食後近くの小学校へ散歩する。



ここはかなり標高の高いところで、涼しい。
あたりには朝霧がかかって遠くは見えない。



小学校



このあと、スジワの家族に別れを告げて、ヌワラエリヤに向かう。

スジワが小鳥を指に乗せるが、小鳥はじっとしている。

このあたりにはアボカドやカカオなどの果樹がたくさんある。(アボカドとマンゴスチンを持ち帰った)



ヌワラエリヤの郵便局。歴史は古く、1815年設立。 当時の建物が残る。

近くにはイギリスが作ったゴルフ場、競馬場や湖のある公園が点在する。

この辺りはイギリスの植民地時代に最初に開かれたところ。



ヌワラエリヤの紅茶農園。
茶摘みは女性の仕事。

ヌワラエリヤのファームと呼ばれる牧場を見学する。



ファームは主にヒンズー系の貧しい人たちが働く紅茶農園がエステートと呼ばれるのと違い、農民は戸建ての家に住み、学校もファームのなかにあったりする。

ファームは外資系の合理化経営で機械化されている。観光客も多く、レストランもある

。写真
写真はファームの牛舎。



牛、やぎ、ウサギなどが飼われていて、乳製品の加工もここで行っている。

ヌワラエリヤは 2000m ほどの高地で一年中おだやかな気候。放牧されている牛。年中草が豊富なので、酪農には最適。

3月10日

今日は帰国の日。

コロンボ空港へ向かう途中、鉄道博物館に立ち寄る。



昔の機関車や客車が展示されており、内部も公開されている。



旧セイロンは鉄道も早い時期に敷かれた。

レールは日本と違い広軌。

たくさんの見学者が来ている。学生は真っ白な制服。

16時前にコロンボ空港到着。

コロンボ空港から19時発大韓航空 KE474 便で帰国する。



3月11日福岡空港到着